

ぬりゑ

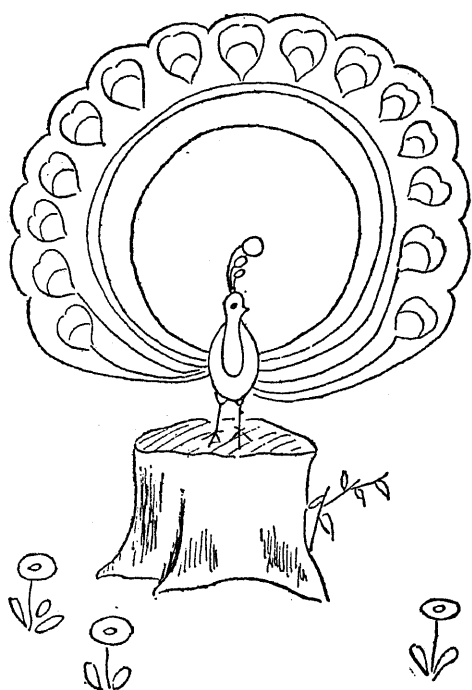
孔雀……………（イソツブ物語より） 及川 ふみ

鳥類がある時集會を開いて王を選擧しようとした。その時眞先に候補の名乗りをあげて、多勢の前にその目もさめるやうなきらびやかな羽をひろげたのは孔雀であつた。みんなは孔雀の輝くやうな威光に打たれて一も二もなく王様の位につけやうとした。その時ちよこちよこささが一羽群衆の前に進んで出て孔雀に向つてかういつた。

「吾々鳥類の王としてあなたの如き立派な方を得ましたことはこの上もない吾々の幸福であります。この後永くあなたの御威勢によつて吾々年來の仇敵たる、鷺鷥の類まで何百羽一所にかたまつて押し寄せませうともいつでもこれを追ひ斥ける御工夫は十分についてゐることゝ存じますが念のためそれを前以て承知いたしたいもので御座います」

かう云はれて孔雀は急にへどもどした。それを外の鳥共が見て、こんな身なりばかり立派で一向に意氣地ない王様ではだめだと云つて選舉はやめてしまひました。

このぬりゑの孔雀は得意満面のとごろです。（ぬりゑの大きさは畫用紙八ツ切り全面）



頭の冠は紅色

頸は黄色

からだは緑色

羽の地色は青

大きい幅の狭い輪は黄色

その内側の輪は緑

まだらは、下は緑、上は黄色

木の切りかぶは茶色をうすく

ひなぎくは真中は黄外は赤